

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	在宅看護援助論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	大谷眞由美 十時奈々	実務経験と その関連資格	平成5年～8年3月まで2年課程で専任教員として勤務。訪問看護ステーションで平成26年2月 まで管理者として勤務する。			
《授業科目における学習内容》						
在宅療養者とその家族を対象に、在宅看護を展開するためのアセスメント方法、看護計画、在宅ケアの連携やケアマネジメント、社会資源を活用するための方法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況、課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 ナーシング・グラフィカ 在宅療養を支える技術 在宅看護論② MCメディカ出版						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
講義で学んだアセスメント技術を生かして、事例を通してグループワークを行い在宅看護過程の展開方法を学ぶ。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	療養の経過と対象者の強みを看護計画に反映させる必要性を説明 することができる		統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと 介護保険法の基礎知識 小テストで確認する	
	各コマに おける 授業予定	在宅看護過程展開のポイント① 対象者の生活と価値観の多様性の尊重 環境や家族の視点 時間的な広がりへの着目				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	チーム連携における看護師の役割を説明することができる		統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと	
	各コマに おける 授業予定	在宅看護過程展開のポイント② 生活を支える制度・支援体制の理解 まとめ				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	在宅看護過程の構成要素とその特徴について説明することができる		統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと	
	各コマに おける 授業予定	在宅看護過程の展開方法 在宅看護過程の特徴 在宅看護での基本的情報収集項目について				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	在宅看護での情報収集項目について説明することができる		統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと	
	各コマに おける 授業予定	情報収集とアセスメントと展開方法 基本的な情報収集の項目と情報の把握、情報源と情報収集の方法 アセスメントツールを用いてADL, IADLを理解する 家族全体としてのニーズをアセスメントする				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	介護者の身体的負担を示す項目について説明することができる。		統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと	
	各コマに おける 授業予定	家族の介護力のアセスメントの展開方法 目標の設定、看護計画立案 実施、評価				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の事例の看護過程の展開ができる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病の紙上事例の紹介 データベース、アセスメントの記録用紙の書き方 関連図の考え方		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅看護における目標設定にあたってのポイントを説明できる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	目標の設定・計画 目標設定のポイント 在宅看護計画の立案		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	長期目標と短期目標の違いを説明することができる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	長期目標と短期目標、優先順位を決定するポイント		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録が看護計画の追加・修正に生かされることが説明できる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	関連図の作成、看護課題リストアップ 実施と評価 実施後のアセスメント 評価		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅看護ケアを標準化することの意味を説明することができる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	長期目標、在宅看護計画の立案 在宅看護の標準化に向けた取り組み		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域における多職種連携の必要性を説明できる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	多職種との連携 在宅における連携の特徴 医師との連携 地域の社会資源との連携		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアにおけるネットワーク作りで果たす看護師の役割を説明できる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	ネットワークづくり 入院時における医療機関と訪問看護の連携		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	在宅看護で遭遇する感染症の種類について説明できる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	在宅看護における安全性の確保 感染防止 医療事故防止 災害時の在宅看護		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	法定後見と任意後見の違いについて説明できる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	対象者の権利保障 個人の尊厳 自己決定権 個人情報保護		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	個人情報取扱事業者として例外について説明できる	統合分野 在宅看護論 配布資料	該当単元を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	個人情報等の情報の開示 成年後見、任意後見、虐待の防止 在宅看護における法律問題の事例		